



緊張！

入学式までの7日間は、新1年生の慣らし学童期間でした。11人のうち7人は卒園児さんなので様子が気になり会いに出かけたところ、笑顔無し、話しかけても返事無しの、超緊張状態！！

こちら相手の予想しなかった反応に苦戦の状態に！！そこで、2年生と3年生の先輩たちに、「よろしくお願いします～。いろいろ教えてあげてね」と、後を託して帰ってきました。12日の神野小学校の入学式に3年ぶりに参加してみると、卒園児が落ち着いて参列し、与えられた役割（教科書贈呈等）を果たしている姿が堂々としていて、これからの学校生活への期待がうかがえました。

最近の様子が右欄に紹介されてします。緊張がほぐれて、同じクラブの2年生と3年生に親しんでいる様子にホッとしています。子どもたちの癒される場所になれるよう願っています。

5月のおたのしみ

- カーネーション製作
- 椅子取りゲーム
- こいのぼり製作
- 室内活動

4月の学童児童数

	4月末 在籍数	5月 新規人数	5月 退所人数	5月 初日人数
1年生	11	0	1	10
2年生	10	0	0	10
3年生	1	0	0	1
計	22	0	1	21

児童の様子

1年生を迎えた4月からあっという間に5月になりました。2年生や3年生は1年生に優しく関わってくれています。1年生も少しずつ児童クラブの生活に慣れ、友達と楽しく過ごす姿が見られるようになりました♪

4月の最初はまだまだ緊張気味の1年生。そんなさんこう児童クラブの施設を1年生と2・3年生でペアになって探検し、2年生・3年生からお部屋や道具の使い方などの紹介をしてもらいました♪「ここはね～、お勉強するときに使うお部屋だよ！」「ブロックで作った作品は1週間飾っておけるんだよ～」など優しく教えてくれた2年生と3年生(*^-^*)。1年生の皆も最初はドキドキ緊張していましたが、少しずつ緊張はほぐれ、ペアのお兄さん・お姉さんと楽しそうに会話しながら探検していました♪

最後には運動場に出て、遊べる場所をぐるりと一回り探検したら鬼ごっこをしたり、ダンゴムシ探しをしたりして楽しく過ごしました。仲良しのお友達もできたようでこれからの児童クラブでの生活が楽しみです♪



これからよろしくね☆



ここは荷物入れのお部屋だよ～



こんなに仲良しになったよ♪

◇ 5月の目標 ◇

「相手の気持ちを考えて声をかける」

入学・進級してしばらくたち、子どもたちの仲も深まって色々な活動を楽しそうに行っています。しかし、仲が深まったからこそ喧嘩などのちょっとしたトラブルも見られるようになりました。そこで、5月は相手の気持ちを考えた話し方ができるように関わっていきたいと思います。また、2・3年生には年下の学年の子への声のかけ方についても考えていけるように一緒に考えていこうと思います。

子どもと読む「優しい」絵本の時間

西九州大学 子ども学部 子ども学科
講師 中村理美

前回執筆した平成 30 年 6 月号では、“大人が読む「優しい」絵本の時間”というタイトルで、2 冊の絵本をご紹介します。今回は、“子どもと読む「優しい」絵本の時間”ということで、3 冊の絵本をご紹介します。

保護者や保育士の先生方から、子どもたちに「障害」や「違い」についてどのように説明したらよいのか…。という相談を受けることがあります。子どもにとっても、説明する大人にとっても難しい内容です。

子どもたちは、障害のある人を「障害者」という概念で捉えているのではなく、行動パターンの違いや外見の違い、学習形態の違い、子どもたちが敏感に感じ取る能力の違い、保育者の対応や扱いの違いなどから、なにかしら「差異」がある人と捉えています。

障害についての正確な知識や、適切な認識を持つためには、それを目的とした教育が必要です。幼児期・児童期においては、その「差異」に気付いたことを尊重しながら、子どもたちの発達段階に応じて理解できるように、目の前にいる子どものありのままを、わかりやすい言葉で伝えていくこと、出来ないことや困難なことだけを伝えるのではなく、できること、こうすればできるよという具体的な話をするのが大切です。

まずは、このような絵本と一緒に読むことを通して、「差異」に気づいた子どもたちと「ちがひ」や「おなじ」について考える際のきっかけにいただけたらいいと思います。



『ねずみくんのきもち』

ポプラ社 (2007 年) 作：なかえよしを、絵：上野紀子

助け合って生きることや、思いやり、お互いに違うものを持っていることの素晴らしさについて考えるきっかけとなる絵本です。



『すきなことにがてなこと』

くもん出版 (2021 年) 作：新井洋行、絵：嶽まいこ

自分の好きなことが苦手な人、自分の苦手なことが好きな人。誰もが持つ、好きと苦手に基づくきっかけとなる絵本です。



『みえるとかみえないとか』

アリス館 (2018 年) 作：ヨシタケシンスケ

「そもそも ぼくたちは みんな ちょっとずつちがう。」

同じところ、違うところについて楽しく考えることができる絵本です。